

PL 法が施行され 20 年が経ちました。モバイルを使い誰でもインターネットを介し国境のないグローバルな情報社会になりました。産業界も消費者もその恩恵をうけている一方では、様々な商品に起因した新たな問題、特に産業界を揺るがす「リコール」については、企業規模に関わらず企業経営に大きな負担となり、風評被害を伴い、有効な対応策ができていません。

製品の安全を達成するための研究を本格的に行うために、各方面の専門家が集結し、本年 4 月 1 日に一般社団法人 PL 研究学会が設立されました。研究テーマの中でも特に産業界に関わる「製品リコール研究部会」を下記の通り開催します。ぜひご参加ください。

開催日 平成 27 年 6 月 19 日 (金)
開催時間 午後 3 時～午後 5 時
開催場所 千葉工業大学津田沼キャンパス 1 号館 8 階
 社会システム科学部金融・経営リスク科学科

【製品リコール研究部会の方向性】

ここでいう「製品リコール」とは、販売後の製品の各種の是正措置を総称した呼称として用いたいと考えています。しかし、「製品」というと、最終消費者用製品のイメージが強いですが、ここでは、特に消費者用製品と限定せず、広く自動車、委託品、建材、食品、材料や部品、さらにはサービスや複合システムの個別要素までを含んで考えていくべきと考えています。また、リコールの問題は、現代のように市場がグローバル化し、複雑化していることを背景に、我が国だけの問題と限定せず、さらに販売前の製品安全対策の段階から考えて、ご報告、意見交換ができればと考えています。

【主な研究テーマ (予定)】

例えば、大きく以下のようなテーマ分野で考えていきたいと思っています。

- ・販売前の製品対策を含んだリコール対策に関する研究や提案に対する意見交換
- ・新しいリコール対策の考え方や先進事例の紹介・提案への意見交換
- ・効果的な消費者被害の防止のための各方面からの意見の交換や報告に対する議論
- ・わかりやすい社告や、消費者の認知性の向上に関する研究事例の報告
- ・欧米等における製品安全・リコール対策の調査

部会長 千葉工業大学教授 越山健彦 (学会 HP より転記)

Access



JR 総武線/津田沼駅 駅前《南口》
 (東京駅から快速で 28 分)
 京成線/京成津田沼駅下車 徒歩 10 分
 (京成上野駅から快速で 37 分)
 新京成線/新津田沼駅下車 徒歩 3 分

千葉工大 HP



参加費無料

モバイルでのお申し込みはこちらから

申し込みフォーム



当学会 HP



※全てご記入ください。

ご氏名	連絡先住所 〒 -		
勤務先法人・団体などの名称		ご職業 (役職)	
連絡先電話 (携帯優先)		メールアドレス	
当学会会員は <input checked="" type="checkbox"/> してください。	<input type="checkbox"/> 特別会員	<input type="checkbox"/> 正会員	<input type="checkbox"/> 準会員 <input type="checkbox"/> 賛助会員

詳しくは <http://aplics.org> FAX での申し込みは 03-3962-5515